

# 千葉教育

## 梅

平成28年度  
No.641

千葉の子どもたちの未来のために

12・1月

### 特集 オリンピック・パラリンピック教育～2020年に向けて～

#### ○シリーズ 現代の教育事情

早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野 義之  
文部科学省大臣官房政策課評価室/スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課  
県教育庁教育振興部体育課  
松戸市教育委員会

#### ○提言

能楽師 シテ方観世流 九世 橋岡久太郎



## ◆学校自慢

グローバル人材育成に挑む～ English day ～

流山市立南流山中学校長 小林 信弥

## ◆提言

伝統からの教え

能楽師 シテ方観世流 九世 橋岡久太郎 …2

## シリーズ！ 現代の教育事情 オリンピック・パラリンピック教育～2020年に向けて～

■ゴールデン・スポーツイヤーズとスクール・レガシー 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野 義之 …4

■2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文部科学省の取組について 文部科学省大臣官房政策課評価室/スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課 …6

■オリンピック教育のこれからの展望 県教育庁教育振興部体育課 …8

■オリンピック・パラリンピック教育の推進 松戸市教育委員会 10

## 私の教師道

■学校を創る 継続とカイゼンそして成長～地域コミュニティと共に～ 松戸市立小金北中学校長 鮎川 渉 …12

■学校を支える 「チーム生浜」の取組 県立生浜高等学校教頭 青柳 表錦 …14

■学校を動かす 教務主任の役割とは～理解し、繋ぎ、引き出す～ 山武郡横芝光町立日吉小学校教諭 守屋 敦 …16

■研修を生かす 企業派遣研修を学校現場で生かす～ウェザーニューズ社での研修から学ぶ～ 千葉市立千葉高等学校教頭 市川 透 …17

■授業を創る 基本にもどって 千葉市立小中台中学校教諭 澤田 健介 …18

■子どもを知る すべては子どもたちのために～私の目指す教師～ 袖ヶ浦市立根形中学校教諭 小野寺汐莉 …20

■子どもを知る 生徒の成長と自分の成長 県立八街高等学校教諭 高梨 智也 …20

## 活・研究 長期研究生からの報告

■小学校編 読書力を高め言語文化に参加する児童の育成  
～読解と読書の融合をめざすミステリーのシリーズ読書～ 船橋市立西海神小学校教諭 三宮真由美 …21■中学校編 思考力・表現力を育む学習指導の在り方  
～「一次関数」における既習事項と関連付けて学習していく活動を通して～ 茂原市立南中学校教諭 中舘 武優 …24■特別支援学校編 高等学校段階におけるインクルーシブ教育システム構築に向けて  
～学校間における交流及び共同学習を通して～ 県立印旛特別支援学校教諭 赤間 樹 …27

## 情報アラカルト

■校外学習における博物館の活用 ～『房総のむら』における学習支援事業～ 県立房総のむら学芸員 吉田 歩未 …30

■企画展「メタルアートの巨人 津田 信夫」 県立美術館主任上席研究員 中松 れい …31

■教員のための博物館の日2016 ～楽しみながら、活かそう！学びの宝庫「中央博物館」～ 県立中央博物館教育普及課主任上席研究員 安川 裕樹 …32

■平成28年度センター研究発表会 県総合教育センター・県子どもと親のサポートセンター …33

■特別支援学級担当者の専門性向上パッケージの開発～質問紙調査の調査結果から～ 県総合教育センター特別支援教育部 …34

■学習状況調査の結果分析を活用し、指導改善に役立てましょう！ 県総合教育センター学力調査部 …35

## 学校 NOW！

■学校歳時記 次期学習指導要領は「学びの地図」 教育創造研究センター所長 高階 玲治 …36

■笑顔をとれどもせ 目標設定と手立ての改善・話し合い活動を通して、道徳性の向上を図るため生徒指導主事として取り組んだこと 浦安市立入船中学校教諭 埜 洋 …38

■千葉歴史の散歩道 日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」 県教育庁教育振興部文化財課・指定文化財班長 島立 桂

## 道標

## オリンピック・パラリンピック教育～2020年に向けて～

オリンピック・パラリンピックは開催都市と国に大きな社会変革をもたらし、レガシーとして有形・無形の良い影響を継承している。その中には、平和主義、社会的マナー、積極的社会貢献など、人間としての生き方の根本に関するものが存在している。1964年東京大会では、大会の成功・日本人の活躍により国民が自信と希望を取り戻し、「パラリンピック」という言葉を初めて使用したことなどから、他者を思いやる心も回復した。その考え方や理念はレガシーとして現在まで引き継がれている。これはIOCの示すオリンピックの3つの価値（卓越、友情、敬意／尊重）やIPCの示すパラリンピックの4つの価値（勇気、決意、平等、鼓舞）に通ずるものであり、子どもたちに伝えていくべきものである。

文部科学省ではオリンピック・パラリンピックレガ

シー創出に向け、スポーツ・カルチャー・イノベーション・ヒューマン・ユニバーサルと5つの分野から目標を立てそれぞれ具体的取組を行っている。いずれの目標も日本が誇る「強み・深み」を再発見し、ショーケースとして世界にアピール・発信すると共に、次の世代への贈り物として継承することを大目標としている。

また本県においても「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略」の中でオリンピック・パラリンピック教育の重要性を取り上げている。

「スポーツは世界と未来を変える力がある」といわれる。2020年東京大会に向け、オリンピック・パラリンピック教育の目標と内容を検討し、子どもたちにどのような力を育んでいくか考えなくてはならない。本号がその一助となれば幸いである。